

②「まちづくりの方向性」（案）の説明会等について

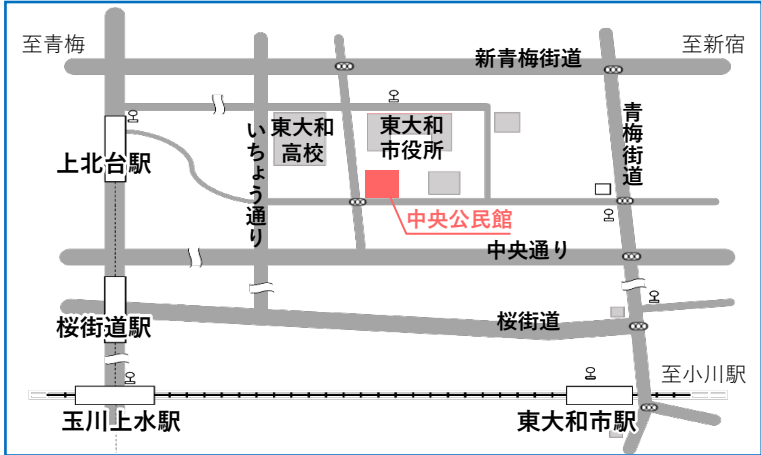
「まちづくりの方向性」（案）に関する説明会を次のとおり開催します。また、令和5年10月6日（金）から令和5年10月27日（金）までの間、パブリックコメントを実施しますので、市民の皆様のご意見をお寄せください。

■説明会の開催日時及び会場等

開催日	開催時間	会場
① 令和5年10月6日（金）	19：10～20：00	中央公民館 301学習室
② 令和5年10月7日（土）	10：10～11：00	
③ 令和5年10月7日（土）	14：10～15：00	

※説明会の内容は各回とも同一です。
 ※パブリックコメントの期間中、「まちづくりの方向性」（案）の全編を市公式ホームページに掲載します。
 ※開催日時及び会場等の変更があった場合は、市公式ホームページでお知らせします。詳しくは問い合わせ先にご連絡ください。

■会場案内図



問い合わせ先 まちづくり部 都市づくり課 都市計画係
 電話：042-563-2111（内線1258）

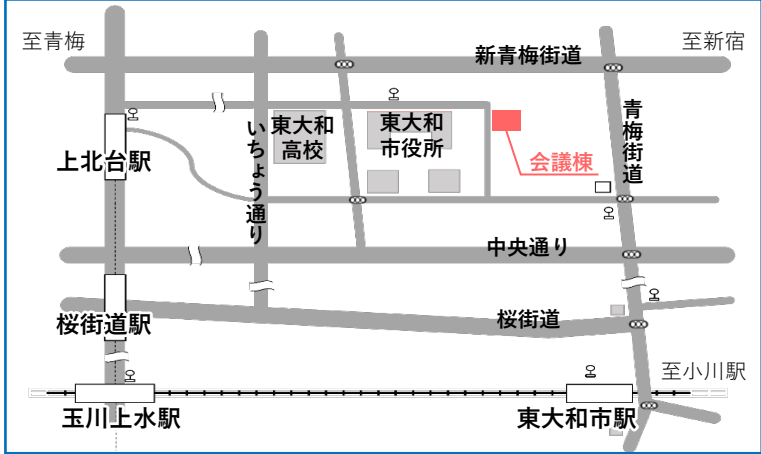
③都市マスタープランの改定に向けた街づくりワークショップについて

都市づくりの基本的な方針である「東大和市都市マスタープラン」は、平成12年3月に策定された後、社会経済情勢の変化や街づくりの進展などを踏まえ、平成27年3月に改定を行い、約8年が経過しました。この間、人口減少・少子高齢化の進展をはじめ、自然災害の頻発化・激甚化、環境問題の深刻化、インフラ・公共施設の老朽化など、社会経済情勢は大きく変化しています。市では、令和4年3月に市の最上位計画である総合計画「輝きプラン」を策定し、これに即した都市マスタープランへの改定に取り組んでいます。このたび、都市マスタープランの改定に向け、都市づくりに関する市民の皆様のご意見を広くお伺いするため、街づくりワークショップを次のとおり開催します。

■街づくりワークショップの開催日時及び会場等

開催日	開催時間	会場
① 令和5年9月28日（木）	18：10～20：30	市役所会議棟2階 第4・5会議室
② 令和5年9月29日（金）	9：40～12：00	市役所会議棟2階 第6・7・8会議室
③ 令和5年9月30日（土）	9：40～12：00	市役所会議棟1階 第1・2会議室
④ 令和5年9月30日（土）	14：40～17：00	市役所会議棟1階 第1・2会議室

■会場案内図



問い合わせ先 まちづくり部 都市づくり課 都市計画係
 電話：042-563-2111（内線1259）

※開催日時及び会場等の変更があった場合は、市公式ホームページでお知らせします。詳しくは問い合わせ先にご連絡ください。

東大和市役所技術職員募集中！【専門人材通年採用枠】

東大和市 職員採用

検索

東大和市では現在、技術職員（土木技術・建築技術）を通年で募集しています。主な応募資格は、昭和59年4月2日以降に生まれた方で次のいずれかに該当する方。

- 土木技術または建築技術の専門課程を専攻し卒業した、実務経験が平成30年4月以降3年以上ある方。
- 土木技術または建築技術で指定する資格を保有し、実務経験が平成30年4月以降3年以上ある方。

詳細は市公式ホームページ職員採用ページにてご確認をお願いいたします。

ゆったり日和 東やまと

職員採用ページQRコード

試験申込

令和5年4月3日（月）～
令和6年1月5日（金）必着

第1次試験

- 論文試験及び性格適性検査
- 個人面接試験

第2次試験

- 個人面接試験

随時
合格者決定

東やまとまちづくりニュース

2023年（令和5年）9月15日発行

「東やまとまちづくりニュース」は、市民と行政の協働の都市づくりを目指す「東大和市都市マスタープラン」の実現に向けて、市民の皆さんに都市づくりの情報をお知らせしています。

No. 44

- ①「上北台駅北側地域の魅力あるまちづくりと空堀川周辺のみどりの再編の方向性」（案）について
- ②「まちづくりの方向性」（案）の説明会等について
- ③都市マスタープランの改定に向けた街づくりワークショップについて

東大和市 まちづくり部 都市づくり課
 042-563-2111 内線1258
<https://www.city.higashiyamato.lg.jp>

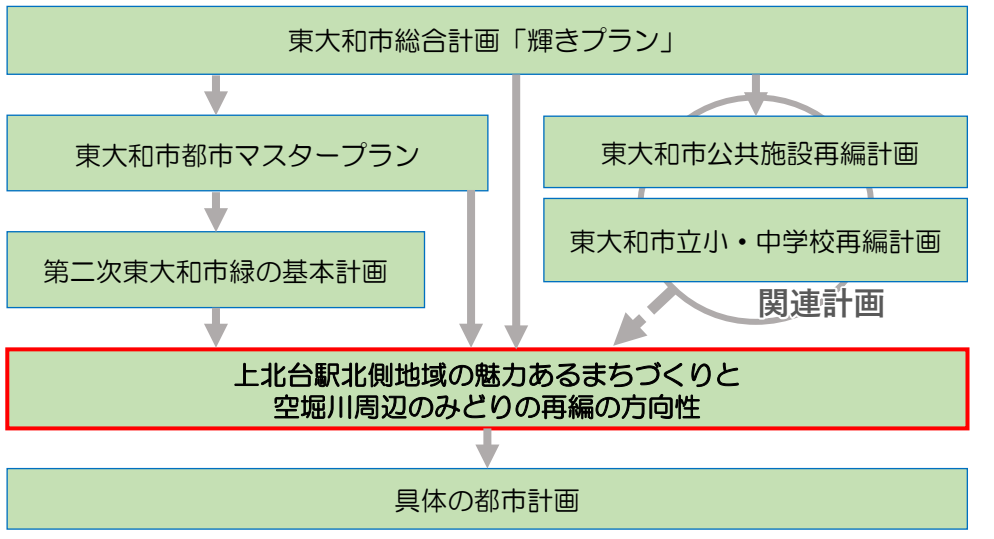
①「上北台駅北側地域の魅力あるまちづくりと空堀川周辺のみどりの再編の方向性」（案）について

1 背景と目的

多摩都市モノレール上北台駅の北側地域は、駅へのアクセスに優れ、狭山丘陵や多摩湖などの自然環境を身近に感じることのできる良好な住環境を備えた市街地を形成しています。現在、東京都により多摩都市モノレールの延伸計画が進められており、市では、延伸に伴うまちづくりの機運の高まりを捉え、上北台駅を「狭山丘陵の玄関口」として賑わいのある魅力的な拠点形成の検討とあわせ、市立狭山緑地をはじめとした狭山丘陵周辺へのネットワークの強化を図るまちづくりの検討が必要となっています。これらの状況を踏まえ、市では地域の目指すべき将来像を実現するため、「上北台駅北側地域の魅力あるまちづくりと空堀川周辺のみどりの再編の方向性」（以下「まちづくりの方向性」という。）の案を作成しましたので、その概要をお知らせします。

2 まちづくりの方向性の位置付け

「まちづくりの方向性」は都市マスタープラン及び緑の基本計画を補完するための計画として位置付けます。他の上位計画や関連計画との関係性は下図のとおりです。

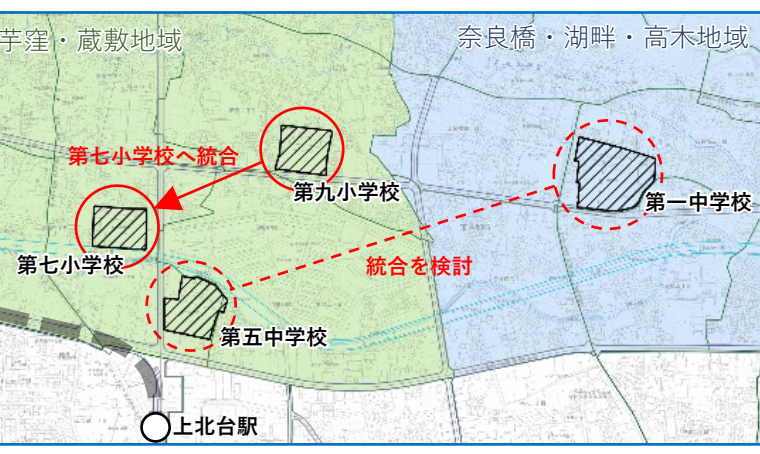


4 主要な関連計画の概要

（1）多摩都市モノレール延伸計画

現在、進められている多摩都市モノレールの延伸計画（上北台～箱根ヶ崎）は、多摩都市モノレールの終点の上北台駅が位置する東大和市上北台一丁目から、武蔵村山市内を通過し、JR箱根ヶ崎駅が位置する西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎までの延長約7.0キロメートルとなっています。また、東京都は同計画について、2030年代半ばの開業に向けた手続きを着実に実施していくこととしています。

多摩都市モノレールの延伸計画等の素案説明会（令和4年10月）資料より▶



3 対象区域

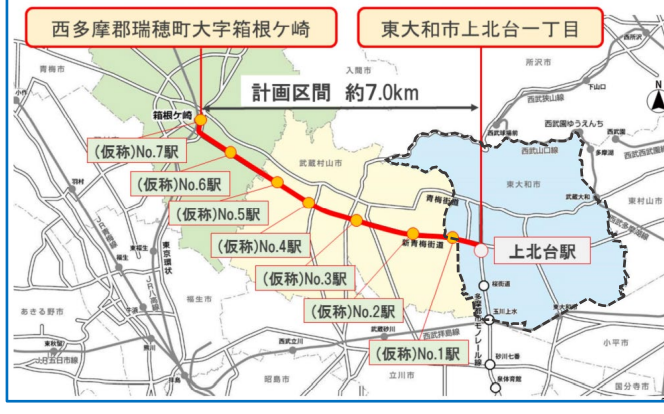
対象区域は主に芋窪5丁目・芋窪6丁目・蔵敷3丁目及び空堀川の旧河川緑道の一部（主に奈良橋5丁目・奈良橋6丁目・高木3丁目）とします。



（2）東大和市立小・中学校再編計画

上北台駅周辺の小中学校については、東大和市立小・中学校再編計画において、第九小学校の第七小学校への統合について、具体的な検討を進めることとしています。また将来的には、第一中学校と第五中学校の統合についても検討していくこととしています。また学校施設の担う役割の一つとして、学校が関わる地域が広がるというスケールメリットを最大限活用し、地域の活動がより活発に行われるよう、新しい地域コミュニティの拠点となるよう検討を進めていくこととしています。

◀ 上北台駅周辺の小中学校再編図

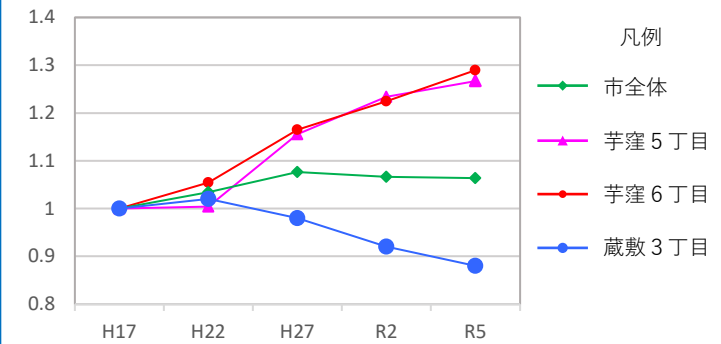


1 「上北台駅北側地域の魅力あるまちづくりと空堀川周辺のみどりの再編の方向性」(案)について【つづき】

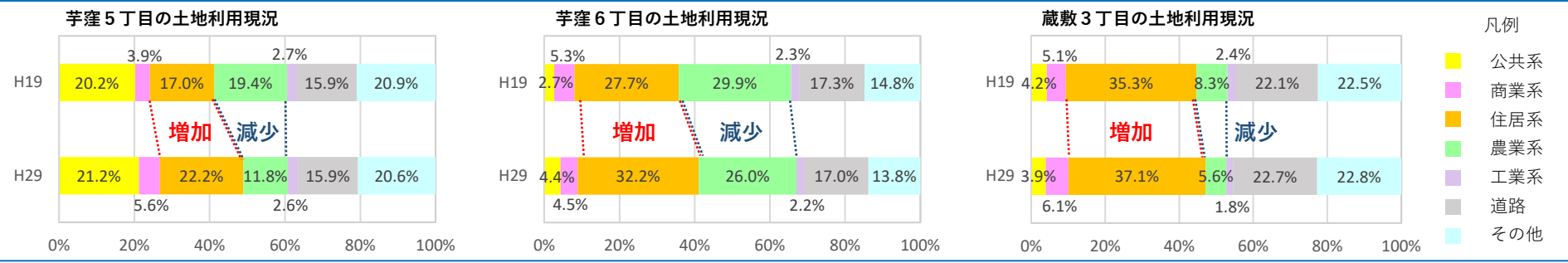
5 上北台駅北側地域の人口及び土地利用の推移

令和5年度現在の芋窪5丁目及び芋窪6丁目の人口は平成17年比で1.25~1.3倍程度に増加している一方、蔵敷3丁目の人口は0.9倍程度に減少しています。芋窪5丁目、芋窪6丁目及び蔵敷3丁目の土地利用を平成19年と平成29年で比較すると、「農業系」の土地利用が減少し、「住居系」の土地利用が増加しています。

市全体と町丁目ごとの人口の推移(令和2年国勢調査より) ▶

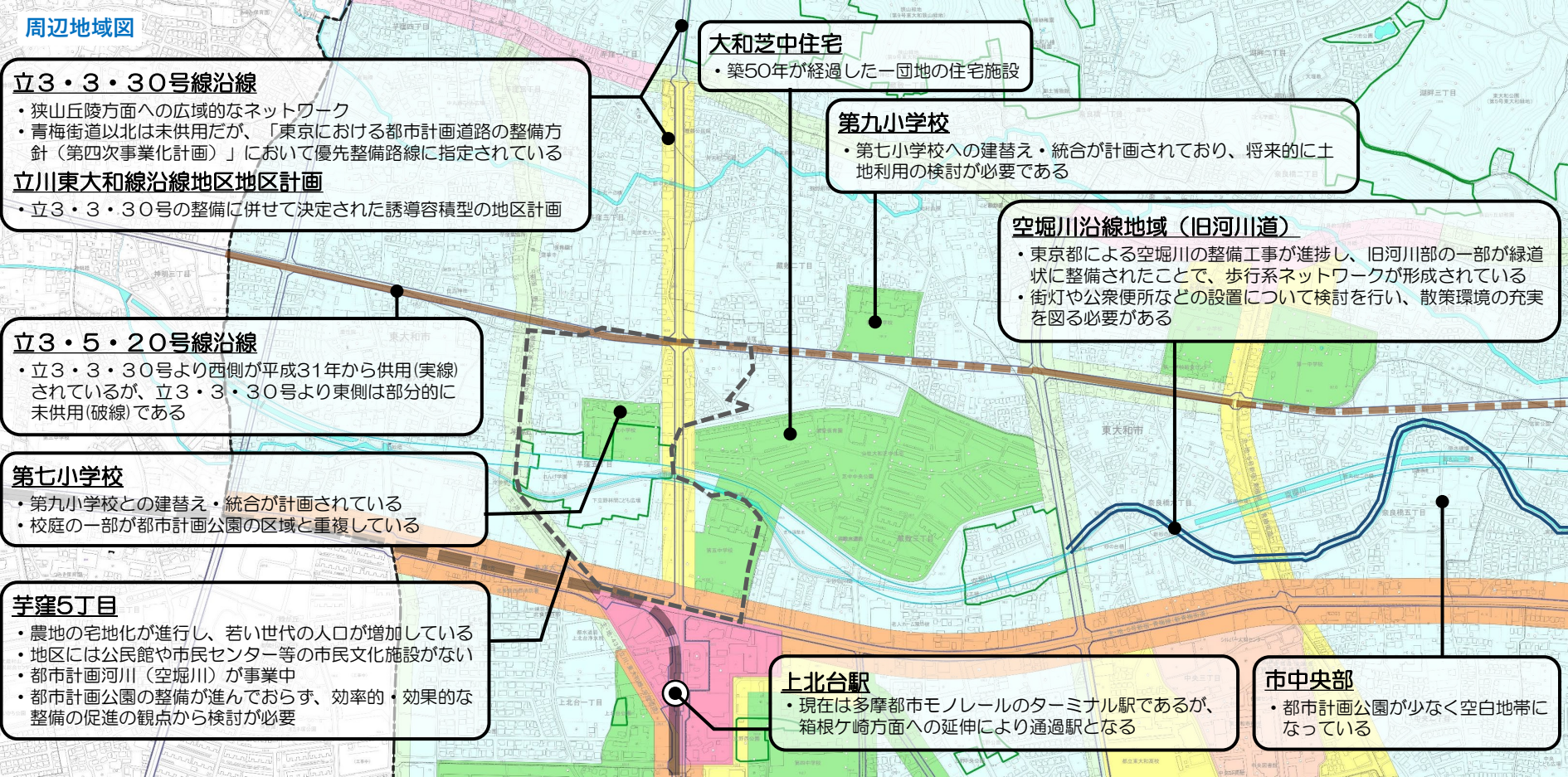


▼町丁目ごとの土地利用の推移(平成19年度及び平成29年度東京都土地利用現況調査より)



6 上北台駅北側地域の現況と課題

上北台駅北側地域は上北台駅近接で交通利便性が高く、ゆとりある戸建て住宅や、オープンスペースを有する共同住宅、市街地に潤いをもたらす農地など、良好な住環境を有しています。また、対象区域の東西には身近な水辺空間である空堀川が流れているほか、北には豊かな自然環境を有する狭山丘陵が広がっています。対象区域とその周辺における現況と課題は下図のとおりです。



7 上北台駅北側地域の目指すべき方向性

「まちづくりの方向性」の対象区域においては、人口構成比の変化、農地等の宅地化など土地利用の転換、コミュニティの形成、共同住宅の老朽化、公共施設の再編等が生じています。さらに現在、東京都による多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面への延伸が計画されている現状などを踏まえ、次のとおり課題を整理し、地域の目指すべき方向性をまとめました。

多摩都市モノレール延伸に伴う、まちづくりの機運の高まりなどを捉え、上北台駅を「狭山丘陵の玄関口」として賑わいのある魅力的な拠点形成や、市立狭山緑地をはじめとした狭山丘陵周辺へのネットワークの強化を図るまちづくりの検討が必要です。

狭山緑地フィールドアスレチックにおける都内最長となるローラースライダーの設置や、小学校の建替え・統合とあわせた公共施設の複合化などが予定されており、これを生かしたまちづくりの展開が必要です。

東京都による空堀川の整備工事が進捗する中、街灯や公衆便所などの設置について検討を行い、散策環境の充実を図ることが必要です。

地域の目指すべき方向性

賑わいのある拠点や
良好な住環境の形成

豊かな教育環境と
地域コミュニティの形成

多様な緑と水の
ネットワークの形成

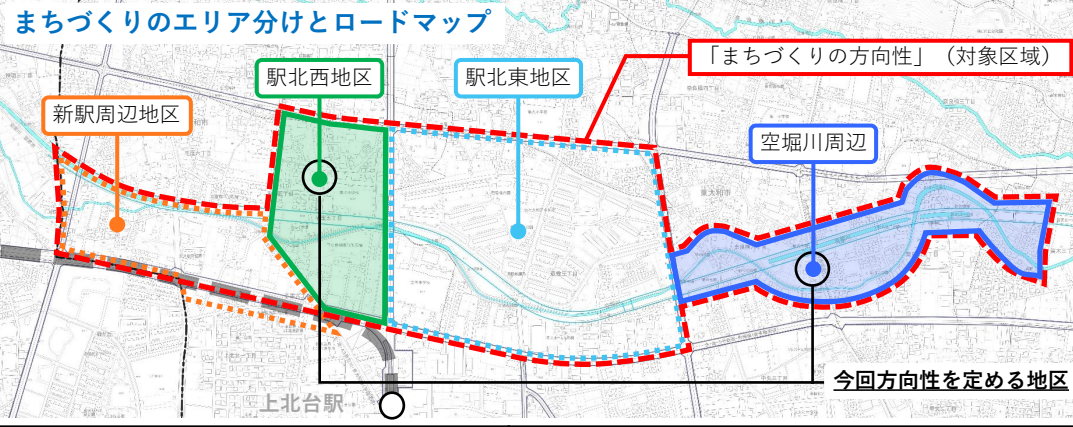
8 上北台駅北側地域の段階的なまちづくり

これまで、上北台駅の周辺地域においては、新青梅街道の南側の「上北台駅周辺地区」や「立野一丁目地区」での土地区画整理事業や地区計画などによるまちづくりを行ってきました。

ここで、多摩都市モノレールの延伸、東京都による空堀川の整備の進捗、小中学校統合の動きなど、上北台駅北側地域のまちづくりの機運が高まっています。

こうした動きを捉えつつ、各種事業と連携を図りながらまちづくりを進める必要があるため、「まちづくりの方向性」の対象区域のうち、駅北西地区のまちづくり及び空堀川周辺のみどりの再編の方向性を定めます。

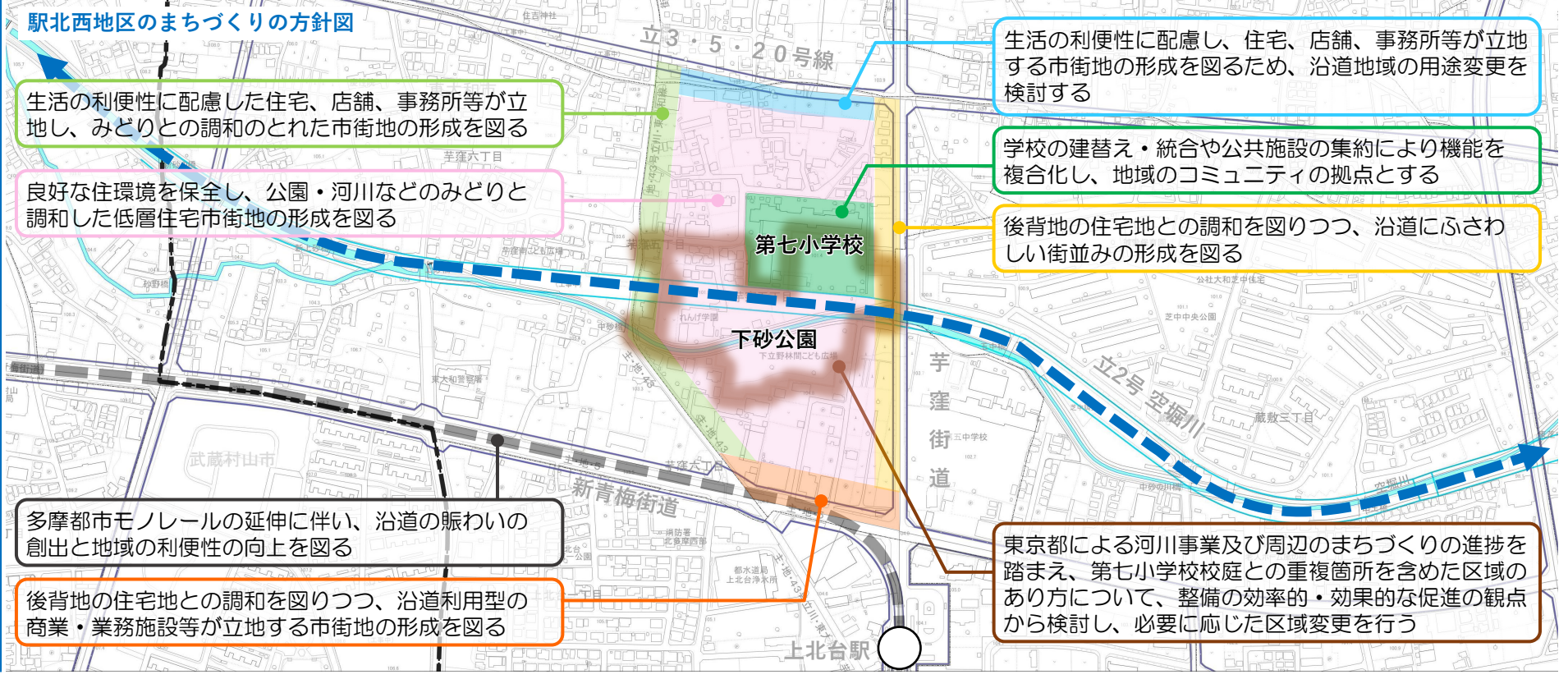
なお、駅北東地区及び新駅周辺地区については、今後の土地利用や都市基盤整備の動向などを踏まえ、「まちづくりの方向性」の見直しなどを適宜行うことで、上北台駅北側地域のまちづくりを段階的に進めていきます。



「まちづくりの方向性」 駅北側地域と空堀川周辺	策定手続き	見直し	見直し
駅北西地区のまちづくり(地区計画等)	準備	都市計画手続き	
空堀川周辺のみどりの再編(都市計画公園の指定等)	都市計画手続き	公園整備	
新駅周辺地区のまちづくり		検討	
駅北東地区のまちづくり			検討

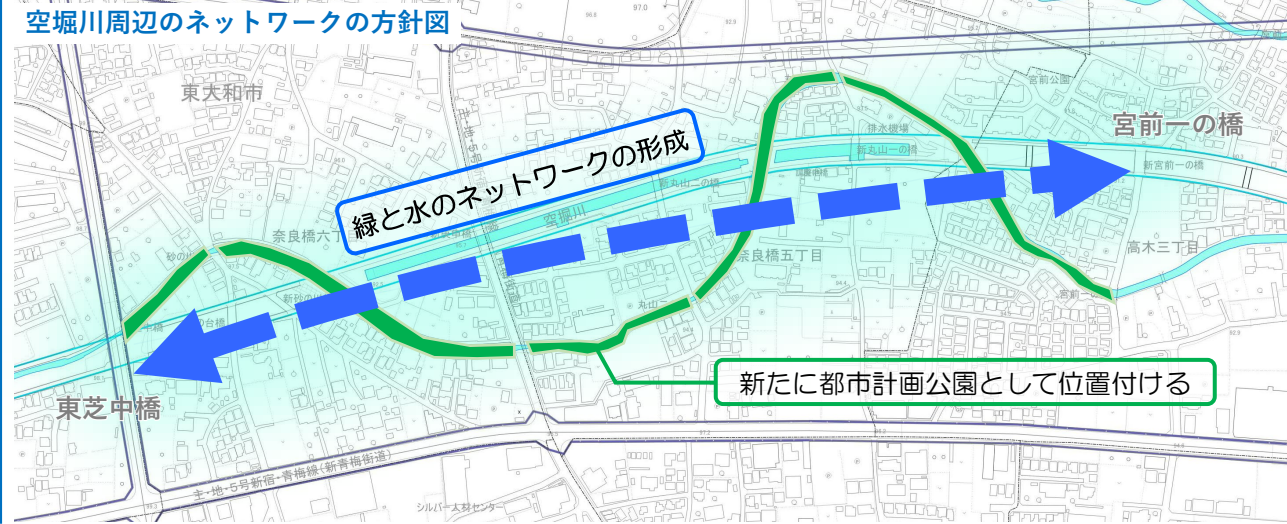
9 駅北西地区のまちづくりの方針

駅北西地区は、上北台駅の北西に位置し、周囲を都市計画道路などの幹線道路に囲まれ、駅へのアクセスに優れた良好な住宅地を形成している地区となっています。第七小学校の建替え・統合及び公共施設の複合化により、豊かな教育環境を備えた地域コミュニティの核の創出や良好な住環境の形成を目指すため、地区計画を策定し、「狭山丘陵への玄関口」にふさわしいまちづくりを推進します。



10 空堀川周辺の緑と水のネットワーク

空堀川旧河川部を含む空堀川周辺は、東京都による空堀川の整備工事が進捗に伴い、旧河川部の一部が緑道状に整備されたことで、歩行系ネットワークが形成され、市民に親しまれる散策路となっています。緑道部分を新たに都市計画公園に位置付け、都市計画公園の少ない市中央部の空白地域を減少させるとともに、街灯や公衆便所の設置について検討を行い、散策環境の充実を図ることにより多様な緑と水のネットワークを形成します。



空堀川旧河川部の一部を都市計画公園に指定することで得られる効果

- 都市計画公園の少ない市中央部に指定することで、空白地域が減少します。
- 街灯や公衆便所など、散策環境の充実を図ることができます。
- 市内の都市計画公園の総面積が増加するとともに、空堀川周辺に位置する公園が供用されることで緑と水のネットワークの形成に寄与します。